

- 87.その（魂）を（体内に）呼び戻さないのか。もしあなたがたが、真実（を語っているの）ならば。
- 88.もしかれば、（アッラー）に近付けられた者であるなら、
- 89.（かれに対する報奨は）安心と満悦、そして至福の樂園である。
- 90.もしかれば、右手の仲間であるならば、
- 91.「あなたに平安あれ。」と右手の仲間から（挨拶される）。
- 92.もしかれば、嘘付きで、迷った者であるならば、
- 93.煮え立つ湧の待遇を受け、
- 94.獄火で焼かれよう。
- 95.本当にこれは、揺ぎのない確かな真理である。
- 96.だから偉大であられるあなたの主の御名を讃えなさい。

SURA 57.鉄章〔アル・ハディード〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.天にあり地にある凡てのものは、アッラーを讃えろ。本当にかれは偉力ならびなく英明であられる。
- 2.天と地の大権は、かれの有である。かれは生を授け、また死を授ける。かれは凡てに就いて全能であられる。
- 3.かれは最初の方で、また最後の方で、外に現われる方でありまた内巧なされる方である。かれは凡ての事物を熟知なされる。
- 4.かれこそは天地を6日の間に創造なされ、それから玉座に鎮座なされる方である。かれは地に入るもの、そこから出るもの、また天から下るもの、そこに上るものを知り尽される。あなたがたが何処にいようとも、かれはあなたがたと共にあられる。アッラーはあなたがたの行う凡てのことを御存知であられる。
- 5.天と地の大権は、かれの有である。（一切の）事物は、アッラーの御許に帰される。
- 6.かれは夜を昼の中に没入させ、また昼を夜の中に没入なされる。また胸に秘めることを熟知なされる。
- 7.アッラーとその使徒を信じ、かれがあなたがたに継がせられたものの中から、（主の道のために）施しなさい。あなたがたの中で信仰して（財産や技能や労力を）使用する者、かれらには偉大な報奨があろう。

8.どんな訳であなたがたは、アッラーを信仰しないのか。使徒は、あなたがたの主を信仰するよう呼びかけている。もしあなたがたが信者なら、かれは既にあなたがたの誓約を受け入れられたのである。

9.かれこそは、あなたがたを暗黒から光明に連れ出すために、そのしもべに明瞭な印を下された方である。アッラーは、あなたがたに親切で慈悲深くあられる。

10.どんな訳であなたがたは、アッラーの道のため施さないのか。本当に天地の遺産の相続は、アッラーに属する。あなたがたの中、勝利の前に（財を）施し戦闘する者と、後からそうする者と同じではない。これらの者は、（勝利の）後に施して戦闘する者よりも高位である。だがアッラーは、凡ての者に善（き報奨）を約束された。本当にアッラーは、あなたがたの行うことを熟知なされる。

11.アッラーに良い選を、選付ける者は誰か。かれはそれを倍にされ、（その外に）気前のよい報奨を授けるであろう。

12.その日あなたは、信者の男と信者の女の、前の方や右側に、かれらの光が走るのを見るであろう。（かれらには言われよう。）「今日は、あなたがたへの吉報がある。川が下を流れる楽園のことである。永遠にその中に住むのである。それこそは、本当に偉大な幸福の成就である。」

13.その日、偽信者の男女は、信者に言うであろう。「わたしたちを待ってくれ、あなたがたから光を借りたい。」（だがかれらには）言われよう。「後ろに引き返せ、そして光を求めなさい。」そこでかれらの間に壁が蝕けられる。そこに一つの門があるが、その内側には慈悲が、その外側には懲罰がある。

14.かれら（偽信者）は、「わたしたちは、あなたがたと一緒ではないか。」と叫ぶであろう。かれら（信者）は言うであろう。「そうだ、だがあなたがたは自分の誘惑に任せ、（わたしたちの没落を）待ち望・、（主の約束に）疑いを抱き、虚しい望・に欺われているうちに、アッラーの命令がやって来るに至った。欺瞞者が、アッラーに就いてあなたがたを欺いたのである。

15.今日となつては、あなたがたの身代金は受け入れられないであろう。また（明らさまな）不信者たちはなおのこと。あなたがたの住まいは地獄の業火である。それはあなたがたの友だ。何と悪い帰り所であることよ。」

16.（本当に）信仰するならば、アッラーの教訓に、また、啓示された真理に、心を虚しくして順奉する時がまだやって来ないのか。以前に啓典を授けていながら、（寛容の時）延ばされて、心が頑固になった者のようであってはならないのではないか。かれらの多くはアッラーの掟に背く者たちである。

17.あなたがたは、一度死んだ大地をアッラーが甦らされることを知れ。われは種々の印をあなたがたのために明示した。恐らくあなたがたは悟るであろう。

18.施しをする男と施しをする女とアッラーに善い選を、選付けする者には、かれはそれを倍にされ、（その外に）気前のよい報奨を授けるであろう。

19.アッラーとその使徒を信じる者、これらの者は（真理を愛する）真実な者であり、主の御目には実証者である。かれらには報奨と光明があろう。だが信じない者またわが種々の印を嘘であるという者、これらの者は、業火の住人であろう。

20.あなたがたの現世の生活は遊び戯れに過ぎず、また虚飾と、たがいの間の誇示であり、財産と子女の張り合いに過ぎないことを知れ。（現世の生活を）例えれば慈雨のようなもので、（作物は）生長して不信心者（農夫）を喜ばせる。やがてそれは枯れて黄色になり、次いで粉々になり果てるのをあなたがたは見るであろう。だが来世においては（不義の徒に）厳しい懲罰があり、また（正義の徒には）アッラーから寛容と善賞を授かる。本当に現世の生活は、虚しい欺時の享樂に過ぎない。

21.あなたがたは主からの寛容（を請うため）に、相競って努力しなさい。それは天地の広さ程の広大な樂園で、アッラーと使徒を信じる者のために準備されている。これはアッラーの恩恵で御心に叶う者にそれを授ける。本当にアッラーは、偉大な恩恵の主であられる。

22.地上において起こる災危も、またあなたがたの身の上を下るものも、一つとしてわれがそれを授ける前に、書冊の中に記されていないものはない。それはアッラーにおいては、容易な業である。

23.それはあなたがたが失ったために悲しまず、与えられたために、慢心しないためである。本当にアッラーは、自惚れの強い高慢な者を御好・になられない。

24.こんな者は物惜し・であるから、人びとにも物惜し・を勧める。仮令誰か（主の道から）背き去っても、アッラーは元々満ち足られる御方であり、讚美すべき御方である。

25.実にわれは明証を授けて使徒たちを遣わし、またかれらと一緒に、啓典と（正邪の）秤を下した。それは人びとが正義を行うためである。またわれは鉄を下した。それには偉大な力があり、また人間のために種々の便益を供する。それはアッラーが、密にかれを助ける者、また使徒たちを助ける者を、知っておられるためである。本当にアッラーは強大にして偉力ならびなき方であられる。

26.われは、以前、ヌーフとイブラーヒームを遣わした。またわれは両者の子孫に預言の天分と啓典を授けた。それでかれらの或る者は導かれた。だが、多くの者はアッラーの掟に背く者たちであった。

27.それからわが使徒を、かれらの足跡に従わせ、更にマルヤムの子イーサーを遣わし、福音を授け、またかれらに従う者の胸に博愛と慈悲の情を持たせた。だが禁欲の修道院制は、かれらが自分で作ったもので、われがかれらにそれを指示してはいない。アッラーの喜びを得たいばかりにしたことだが、かれらはそれも守らねばならないようには守っていなかった。それでわれは、かれらの中の信仰する者には報奨を与えた。だがかれらの多くの者はアッラーの掟に背く者たちであった。

28.あなたがた信仰する者よ、アッラーを畏れ、かれの使徒を信じなさい。かれは倍の慈悲を授け、また光明をあなたがたのために蝕け、それで（正しい道を）歩ませ、またあなたがた（の過去の罪業）を赦される。本当にアッラーは寛容にして慈悲深くあられる。

29.アッラーの恩恵をかれらが少しも左右出来ないことを、また恩恵はアッラーの御手の中にあるということを啓典の民は知るがいい。かれの御心に適う者は、それを授かる。本当にアッラーは偉大な恩恵の主である。

SURA 58.抗弁する女章〔アル・ムジャーダラ〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

1.アッラーは、自分の夫に就いてあなたに抗弁し、なおアッラーに不平を申し立て（祈）る女の言葉を御聞きになられた。アッラーは、あなたがた二人の議論を御聞きになられた。本当にアッラーは全聴にして全視であられる。

2.あなたがたの中で、ズィハールによって、その妻を遠ざける者がある。しかしかの女らはかれらの母ではない。母はかれらを生んだ者以外にはないのである。実にかれらの言うことは不法な、虚偽の言葉である。本当にアッラーは寛容にしてよく罪を赦される。

3.ズィハールを宣言してその妻を遠ざけた者が、後にその言ったことを撤回しようとする時は、両人が栗に触れる前に、一人の奴隷を解放しなければならない。これは、あなたがたに戒告されたことである。アッラーは、あなたがたの行うことを熟知なされる。

4.しかし（解放する奴隷を）持たない者は、両人が栗に触れる前に、2ヶ月続けて齋戒しなさい。それをなし得ない者は、60人の貧者に食を与えなさい。これは、あなたがたにアッラーと使徒を信じさせるためである。これらがアッラーの掟である。不信者に対しては痛ましい懲罰があろう。

5.本当にアッラーと使徒を拒否する者は、かれら以前の者たちが、卑しめられたように卑しめられるであろう。われは明白な印を下している。不信者に対しては、恥すべき懲罰があろう。

6.その日アッラーはかれらを一斉に甦らせ、かれらの行ったことを告げられる。かれらはその事を忘れていたが、アッラーはそれを計算に入れられる。本当にアッラーは凡てのことを実証される御方である。

7.あなたは、天地にある凡てのものをアッラーが知っておられることを知らないのか。3人で秘密の相談をしてもかれは4人目に常におり、5人の時もかれらの6人目に常におられる。それより少くともまた多くても、かれらが何処にいようと、かれはかれらと共におられる。それで審判の日には、かれはかれらの行ったことを、かれらに告げられる。本当にアッラーは凡てのことを熟知なされる。

8.あなたは、秘密の相談を禁じられた者たちが、その後禁じられたことに返っているのを見なかったのか。かれらは罪悪と敵意と使徒への犯意とで、密議したではないか。またかれらがあなた